

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 小川郁男 様

施設名 介護老人保健施設 すみよし
 氏名 小林 永治

研修会報告書

研修会名	令和元年度第2回生活リハビリ研修				
日時	令和元年11月14日(木)				
会場	埼玉県民活動センター 307セミナー室				
講師	愛 並木洋之氏/遊 神山知子氏				
参加人数	38名				
研修委員 (氏名・施設名)	小林永治(すみよし)/鎌田千愛(いぶき)/佐藤恵子(瑞穂の里)/ 三畑陽代(グリーンピア)/松本宏明(プライムケア川越)				
研修会のテーマ	在宅復帰に向けての多職種連携の意義を考える				
研修会の評価	アンケート回収枚数	38 枚		3. グループワーク	4.4 / 5
	1. 研修内容と目的の一致	4.2 / 5		4. 研修会の進め方	4.4 / 5
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	17.3 / 20
		②	/ 5		
③		/ 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	【反省点】				
	◆午後のワールドカフェで、参加者にリラックスした雰囲気の中で話し合ってもらうためにお菓子を用意したが、予算を確保できず研修メンバーが負担した。年度当初に計画し予算を確保すべきであった。				
	◆ワールドカフェの最終ラウンドの共有の時間が短く、予定より早く終了した。グループで話し合ったことの発表を増やす、参加してみた感想を発表する、お互いの模造紙を見せ合うなど、さらなる展開を準備すれば学習が深まり、満足度が高まったと思われる。				
	【良かった点】				
	◆配布資料を事前に事務局から受け取り、一人分ずつセットして渡せる状態にしておいたことで、受付作業はとてもスムーズであった。				
	◆午前の講義のグループワークの中で、参加者同士の緊張がほぐれるよう自己紹介の機会を設けた。そのおかげで午後のワールドカフェが和やかな雰囲気始まり、活発な意見交換を引き出すことができた。				
	【アンケートのまとめ】				
	◆並木講師の講義に対するアンケートの評価は、たいへん良く理解できた、もしくは理解できた、が84% (32名/参加者38名)であり、「生活リハビリの考え方が良く分かった」「事例が多く分かりやすかった」「資料が見やすい」などの意見が多かった。				
	◆神山講師のワールドカフェに対するアンケートの評価は、たいへん良く理解できた、もしくは理解できた、が92% (35名/参加者38名)であり、「多職種との考え方の差を埋める良い機会になった」「従来のグループワークよりも話しやすい雰囲気だった」「自分の職場でもワールドカフェを行なってみたい」などの意見が多かった。				
◆研修の進め方に対するアンケートの評価は、たいへんスムーズだった、もしくはスムーズだった、が95% (36名/参加者38名)であり、「時間通りに進行できていた」「時間配分がちょうど良かった」「質問時間が多くとられていて良かった」などの意見が多かった。					

*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。